

郵便
報知新聞
第五百五十一号

十坂半越町の冒険と業とをもちたる松本
 といと呼ぶ婦人あり年猶廿六才多か
 日頃より柔術をも長けしが其妍ま
 きを以て人共勇と知るもの近き
 頃隣家の娘と連れて長柄川の
 堤を過りしに川風来きかたれ
 時四人の荒男躍り出でまあいと
 隣の娘とを兩人つとめて取るも
 強活あると為せしむけ打向へや
 大に怒りて組付さる一人を水中
 投ごとし又一人と撞らし隣の娘と押
 臥せし一人の領髪とつて
 槍倒し拳と堅めて人の眼の辺を
 打たれ何とも愁と逃散らん
 三和堂の図紙の巻



三和堂
彫工銀

70
65
60
55
50
45
40
35
30
25